

地域密着型サービス 運営推進会議 報告書

事業所名称…デイサービスもみの木苑

サービス種類…地域密着型通所介護

会議開催日…令和 8年 2月 26日

開催場所…有料老人ホームもみの木苑1階食堂

出席者

事業所	2人	利用者	1人
利用者家族	1人	地域代表者	1人
松江市職員	1人	包括支援センター	人
知見を有する者	人	その他 ()	人

■ 議題

1. デイサービスもみの木苑 事業所活動報告
2. 事故・ヒヤリハット報告
3. 見守りネットワーク事業および地域連携(民生委員との連携強化)について
4. 今後の取り組み
5. ACP(人生会議)の取り組みについて

■ 議事

1. 事業所活動報告

- ・利用者数は男性 8 名、女性 33 名である。前回会議時より減少しているが、職員不足により受入れ制限を行っていることが主な要因と考えられる。
- ・利用者は 80 歳以上、90 代が多くおられ、100 歳以上の利用者が 4 名おられる。
- ・12 月から 2 月にかけて、クリスマス会、新年会、初詣、節分行事を実施した。3 月には演奏会および花見ドライブを予定している。今後も季節行事を充実させ、利用者が楽しみを持てる機会を提供していく。
- ・行事食を月 2 回実施している。セントラルキッチン方式のため通常は生ものの提供が難しいが、行事食では寿司や刺身等を提供している。提供にあたっては食中毒対策を徹底し、安全管理に十分配慮している。

2. ヒヤリハット・事故報告

- ・休み予定の共有漏れによる誤送迎が発生した。
 - ・送迎時の車椅子積み忘れ事例があった。
 - ・歩行時の転倒および車椅子接触による皮膚剥離事例があった。
-

3. 見守りネットワーク事業および地域連携

- ・離設傾向のある利用者 1 名について、家族の承諾を得て見守りネットワークへ登録を行った。
 - ・行方不明時の対応について、警察との連携体制を再確認した。早期通報の重要性を共有した。
 - ・民生委員との連携強化の必要性を確認した。
-

4. 今後の取り組み

- ・ICTを導入し、業務効率化および職員負担軽減を図る。
 - ・創出された時間を利用者との関わりに充て、満足度の向上に努める。
-

5. ACP(人生会議)の取り組み

- ・家族向けアンケートを実施。15 件の回答(回収率50%)。ACPについて知っているかに対して、知らなかったが7割。ACPで話し合うような内容と近い話を誰かとしたことあるかに対して、ある、少しだけあると回答したのが3割。誰と話し合ったかに対して、子供、親、配偶者が挙げられた。ACPについて話し合う機会をもってみたいかという質問に対して、話してみたい、機械があれば話してみたいが8割。
 - ・「しまねの人生会議 寿命カミくじ」を活用し、自身の価値観や優先事項について考えるワークを参加者で実施した。
 - ・人生の最終段階を見据え、「何を大切にしたいか」「どのように過ごしたいか」について考える機会を設けた。
-

■意見交換

・同一法人に居宅介護支援事業所があり、東出雲町在住高齢者を主に担当している。民生委員や地域住民による日頃の見守りや安否確認が大きな支えとなっているとの報告があった。

・離設時の対応について、警察への早期通報の重要性を再確認した。また、行方不明時にはタクシー会社等への情報提供も有効であるとの意見があった。

・児童民生委員は小学生の見守り活動も行っており、学校との連携も重要である。現在、学校と保護者の連携アプリに加入し、民生委員活動に活用しているとの報告があった。

・自治会に未加入の世帯もある中で、自治会・社会福祉委員との連携強化を進めている。特に独居高齢者の把握および関係づくりを重点的に行っているとの説明があった。災害時の安否確認体制には課題があることが共有された。

・もみの木苑としても民生委員との連携を強化し、介護予防の観点から地域活動への参加促進を図っていきたい旨を述べた。

・ACP については、家族間で話し合うきっかけとして有意義であるとの認識を共有した。

・ケアプラン作成時において、本人にとって何が大切かを把握するための有効な手段となり得ること、また家族が本人の思いを代弁する際の支援ツールにもなるとの意見があった。

・松江市において終活ノートの作成・配布が行われているとの紹介があった。記入項目が多く負担に感じる場合は、記入できる箇所から無理なく書き進めればよいとの助言を受けたとの共有があった。内容はその都度変化するものであり、気負わず取り組むことが大切であるとの意見であった。

・ACP の話題について、「不謹慎」と受け止められ話し合いが難しい場合もあるが、人生の最期を考えることはより良い生活を送るためのものであることを丁寧に伝え、理解を求めることが重要であるとの意見があった。

・寿命カミくじ実施後の主な意見は以下のとおりである。

- ・ 家族に感謝を伝えたい
- ・ 平穏で穏やかに過ごしたい
- ・ 家族や地域への感謝を形にしたい
- ・ 食べたいものを食べられるよう元気でいたい

- 身の回りの整理をしたい
- 人生の楽しかった思い出を振り返り、幸せな気持ちで過ごしたい
- 家族との時間を大切にしたい
- 家族と旅行に行きたい
- 子どもが困らないよう家や墓の整理をしたい
- 検体登録を希望し、無理な延命治療は望まない
- 葬儀は簡素または不要としたい

※事業所確認欄

□活動報告についての評価を受けることができたか。	○
□要望・助言等受ける機会を設けたか。	○